

2013 年 04 月 28 日

「LT会」会報第 13-04 号(総 123 号)

上海 LT コンサルティンググループ

進化する中国の電子決済システム

筆者が中学二年生であった二十世紀 90 年代にテレビで「高速道路情報の構築」という番組が放送された。当時は、現在のようなインターネットに恵まれた快適な生活が実現するのは遥か遠い未来のことだと思っていた。僅か 10 数年後に今日のように便利な世の中になるとは想像もでなかった。インターネットの発達が企業のビジネスモデルや個人の消費スタイルを完全に変えてしまったのだ。

例えば銀行業務は、インターネット通信技術の改良により顧客サービスが飛躍的に高められた。インターネットバンキングの業務量は増え続けており、今や顧客の 68% (一部の銀行では 85% 以上) が窓口業務よりもインターネットバンキングを利用しているそうである。

携帯電話やタブレット端末の普及に伴い、モバイル金融が銀行の新たな発展分野となっている。2012 年までに、全国 18 行の主要商業銀行のうち 16 行において iPhone や Android 搭載のスマートフォンからインターネットバンキングを利用可能となっている。上海浦東発展銀行(浦発銀行)は中国移动通信と提携し、2013 年の春節前から新たなモバイルバンキング業務を開始した。日本の「おサイフケータイ」に類似した機能の他、相手方の携帯番号を入力するだけで、全国の浦発銀行の店舗やおサイフケータイ代理店で現金を受け取れるサービスを提供しており、好評を博している。

中国の電子決済システムで特筆すべき点は、銀行以外のサードパーティによる電子決済システムが充実していることである。こうしたプラットフォームを利用した資金決済機能は電子商取引や個人金融の分野で欠かすことのできない存在となっている。

以下は今年の春節休暇中の出来事である。毎月 10 日はクレジットカード代金の返済締切日であるが、年末の忙しさに追われ「拉卡拉」(注:主にコンビニ等の POS 端末等を利用する銀行間の決済サービス、銀聯カードが運営)を通じて返済するのをすっかり忘れてしまった。家に帰ってからインターネットバンキングで支払えればいいと考え、自宅のパソコンから振り込もうとした。何度試みても受け付けてくれないので、仕方なく 24 時間対応の銀行ホットラインに電話で質問すると、「他行宛振込業務は 2 月 8 日午後 4 時から 11 日午後 6 時までサービスを停止している。」と説明された。このままで返済が間に合わず、滞納金や利息を徴収されてしまう。だが、銀行のオペレーターは「支付宝」(注:インターネットショッピングの決済サービス、アリペイが運営)を使えば春節休み中もクレジットカードの返済ができることを教えてくれた。結局「支付宝」のおかげでクレジットカードの返済は間に合ったのである。

「拉卡拉」も「支付宝」もサードパーティによる電子決済システムであり、クレジットカードの返済の他に、銀行預金の残高照会・口座振替、公共料金の支払、携帯電話等のチャージ等様々なサービスを取り扱っている。今回のことで、夜間や休日に他行宛振込ができないインターネットバンキングよりもむしろ利便性が高いことが分った。おそらくは、多数の銀行と提携した共通のプラットフォームであることから、銀行間の決済システムよりも自由度が高く、革新的な業務を提供できるのであろう。

まさか今の時代には、如何にインターネット通信技術を活用し、サービスレベルを高めることは、企業発展の避けられない重要な課題になるかと思われる。

弊社でも、2013 年に入ってからホームページ(<http://www.lt-shanghai.com/>)のレイアウトを一新しただけでなく、パソコンを通じてご利用が可能な各種サービスの提供を開始した。

クラウドコンピュータを活用した「用友」会計ソフト(U8)を利用すれば、いつでも、どこからでも中国法人の会計帳簿を閲覧できる。日本本社や出張先等の遠隔地にいても、瞬時に財務状況を把握できるため、迅速な意思決定が可能となる。また、eラーニングを活用した社員研修システム(LT-ETR)では、就業規則、安全生産、内部統制、ビジネスマナー等の研修教育プログラムを研修場所や時間等の制約を受けることなく、必要なものを選択して受講することができる。

弊社では、お客様に対しインターネットを通じて良質なサービスをお手頃な価格で提供するための努力を今後も続けて行く所存である。これらのサービスをお客様のニーズに応じて積極的にご活用いただければ幸甚である。

以上